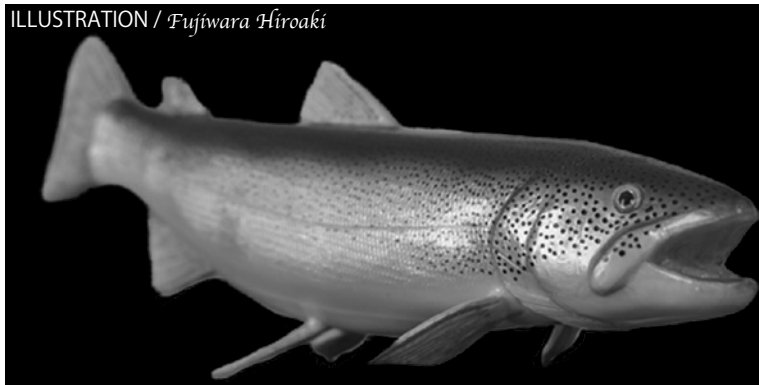




尻別川の未来を考える オビラメの会

OBIRAME RESTORATION GROUP
NEWSLETTER June 2011

36

2年連続で尻別イトウ自然産卵！

当会は5月、倶知安町内の尻別川支流で、イトウが産卵のために遡上しているのを確認しました。前年、約20年ぶりに自然繁殖の成功が確かめられたのと同じ場所です。当会は、イトウ親魚たちが安心して繁殖行動を続けられるよう、かねて準備していた計画に従ってただちに24時間体制の保護活動をスタート。約20日後に最後の個体が支流から本流に降下して繁殖期が終了するまで、のべ120人以上の会員ボランティアが交替で現地に常駐

し、心配されていた“密漁”を完全に防止しました(2ページ以降に詳報)。

当会は「イトウ保護は地域ぐるみで取り組んで初めて成功する」との考えから、あらかじめ地元の倶知安町・同町教育委員会・倶知安署・後志総合振興局(河川管理者)などの公機関や、繁殖地周辺の住民のみなさんに、イトウ保護活動への協力を要請。マスメディアにも計画を伝達するなど、積極的に情報を公開しました。

吉岡俊彦事務局長の話

希少種を保護するために繁殖の時期や場所を積極的に公開して世論に訴える方法は、実は危険と裏腹です。「オビラメの会」が情報公開したせいで、イトウたちが誰かにこっそり釣られてしまうのではとドキドキし通していましたが、杞憂に終わってホッとしています。反対に、たくさんの方の見学者の人たちがわれわれの解説に耳を傾けて保護の必要性を理解くださった上、「がんばって」「こういう活動が必要だと思っていた」と励ましてもらい、この方法が間違っていなかったと確信できました。志願して日夜パトロールしてくれた大勢の会員のみなさんと、この喜びを分かち合いたいと思います。



絶滅危惧種イトウの自然産卵を見学に来た倶知安町の福島世二町長(右から2人目)と、ニセコ町の片山健也町長(右端)に、イトウ保護対策を要望する草島清作会長(左から2人目)と吉岡俊彦事務局長(左端)。
2011年5月某日、阿部幹雄氏撮影。

屍別イトウの守護者たち

2011シーズンのオビラメ自然繁殖観察報告メールから

2日目(沼田雄一)

本日までの状況についてお知らせします。一昨日、昨日は確認できず。山根さんの報告では、今日は水量が多くなり濁っているようです。今晚も雨が降っていますので明日も同じ状況かと思います。吉岡さんはあす残りの挨拶回りに行く予定だそうです。

3日目15:09(平田剛士)

さいぜん川村さんから電話で、去年と同じ場所に大きな魚が遡上しているのを確認したそうです。いまも岸から赤い体がよく見える、と現場からケータイで知らせて下さいました。現場はミゾレだそうです。「多分雌はまだ来ていない」「人が大勢来るとかえって知られてしまうかも」との伝言預かりました。

3日目20:41(沼田雄一)

すでに平田さん経由で報告されていますが、本日、川村さんが雄を確認しました。岡崎館長と吉岡さんも現場に駆けつけ、一緒に確認。沼田も仕事終了後、岡崎館長と合流して行ってみました。が、残念ながら確認できず。川村さんのお話では「今の状況では夜間の密漁は考えにくく、注意するなら日

中の釣り」「本格的な密漁は増水と濁りがおさまる連休明けから」「連休明けまではなるべく目立たずに監視した方がいいだろう」とのこと。看板やプレハブ小屋が設置され、本格的な監視体制が始まるまでは各自の都合が付く時間帯にこっそり監視するという感じをお願いします。

4日目09:45(沼田雄一)

幸か不幸か、本日雄を複数の個体を確認してしまいました。川村さんのお話では時期がちょっと早まるかも、とのこと。午後から吉岡さん、岡崎館長と交番回りなどをするので、その時に監視体制などを話し合う予定です。昨日のリベンジで、朝5時半頃には現場に到着。天気は薄曇り。水量・濁りとも少なく観察しやすそうな感じが、さっぱり見つからず。かわりにエノキタケを発見したので、すっかりキノコ収穫モードに突入。そこそこ収穫できたので、そろそろ帰ろうかと思つてふと

川を見ると、赤い物体を発見。8時半に撤収。明日明後日の監視はどうでしょうか？
ちなみに倶知安の日の出は4時半くらい、日の入りは18時半くらいです。

4日目18:03(沼田雄一)

雌が魚道下まで遡上してきました。すでにペアリングが始まっているようです。午後3時に現地で草島会長、平田さん、阿部さん、岡崎館長と合流し、駐在所にご挨拶に。オビラメの会で監視をすること、何かあれば通報すること、できれば巡視してほしいことを伝えました。吉岡さんが近くの農家を回ってくれています。沼田が着いたときには、すでに魚道下に雌が遡上してきていて、時折ピンクがかった尾びれが見えていました。明日は昼ごろに看板が設置される予定。当初予定よりいろいろと前倒しになりそうです。

鎌田
坂田
足立
河原
山根
沼田
小野寺

吉岡
沼田
河原
坂田
足立
草島
岡崎
長谷川
西井
岩瀬

草島
阿部
平田
吉岡
片山
福島
竹内
藤盛
菅原
長谷川

坂田
山根
沼田
河原
草島
阿部
吉岡
藤原
五十嵐

足立
藤原
沼田
草島
阿部
長谷川
吉岡
山根

パトロールに参加したみなさん (敬称略、順不同)

沼田	草島	川村	河原
岡崎	平田	吉岡	岡崎
吉岡	足立	草島	吉岡
阿部	吉岡	足立	藤盛
平田	草島	坂村	沼田
川村	菅原		

河原
山根

草島
山根

草島
川村
沼田
吉岡
岡崎

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

目視できた遡上イトウの個体数の推移

4日目20:01(平田剛士)

ゆうべ夜半から降り始め、けつきよく現場で車中泊。川村さんも9時過ぎに到着、2カ所で張りましたが、朝7時ごろまではほかにはだれも川には現れませんでした。7時過ぎにヒラタ離脱、代わりに足立さんが到着、その後吉岡さんも合流。

5日目(足立聡)

8時に現地着。9時から10時半まで川を歩き、複数のイトウを確認。本格的に掘っているのは1尾だが他の雌の掘り行動をしている。10時半、菅原さん着。プレハブ、看板設置。12時、看板屋さん着。看板4枚受け取り。川村さんと菅原さんは帰って現在足立だけです。今のところ怪しい人は見ていません。

6日目09:26(吉岡俊彦)

昨日は産卵床現地に監視ハウス(オビラメハウス)が完成しました。菅原さんありがとうございました。ストーブ、テーブル、イスもセットしてきました。保護願いの看板も6枚設置しました。私を感じる限りこの中で悪いことはちょっと無理というところまでにセットしたつもりです。現在のところ「怪しい」人は見かけません。産卵時期が早まったこともあるかも知れません。昨日はイトウが産卵行動に入り本日あたり産卵かと思われます。川村さん、足立さんの話だと10日間前後で終了するのではとのことでした。「必ず守り抜くから早く終わって帰ってくれ!」と

いう感じです(笑)あと少し頑張りましょう(24時間体制を!)

6日目18:08(沼田雄一)

午後3時過ぎに現場に到着。草島会長、吉岡さん、足立さん、藤盛さんと坂村さんご家族、ちょっと遅れて岡崎館長、弘前から戻ったばかりの河原さん到着。4人グループの釣り人が竿を持たずに見に来たようです。現在、現地には藤盛さんと草島会長が残っています。日没までに沼田と交代し、今夜は沼田が川原泊です。

7日目08:46(吉岡俊彦)

今帰ってきました。何組かはもう産卵を終えたような感じです。でも1ペアだけが魚道下にいました。釣り人3、4人が見学に来てたそうで足立さんと会長の話を1時間ほど聞き、大変感動して帰ったそうです。俱知安の福島町長、ニセコの片山町長に見学してもらおうと調整中!

7日目12:57(沼田雄一)

ゆうべ午後6時半ころに、足立さん、藤盛さんによって沼田が現地滞在。魚道下に1ペアがかろうじて確認できる状況でした。真っ暗になってからはランタンをハウス内に灯し、車内で仮眠。午後10時半ころ車でパトロール。11時半ころ懐中電灯を持って徒歩でパトロール。午前0時から仮眠。3時半ころ車でパトロール。寒く なたたので(霜が降りて ました)

4時ころ徒歩で土手を散歩。まだ薄暗い中、土手の上から雄イトウたちを確認。山から太陽が顔を出したころ、河原さん合流。5時半過ぎに坂田さん合流。6時半過ぎに足立さん合流。雌は時折、産卵床を掘る行動をしていました。7時に河原さんと沼田が撤収。明日は俱知安町長とニセコ町長が現地に来られるようです。俱知安教育長が岡崎館長とともに本日、現地を視察されたそうです。

7日目16:48(平田剛士)

現場の坂田さんから情報を伝達します。それぞれのイトウの性格や行動に個体差があるようで、現場では「オクビョウくん」「バンチョウくん」などと早くも愛称がついているそうです。雌のうち1個体は体長60センチ前後と目立って小さいそうです。ただし、体色はほかの個体同様うっすらピンク色で、成熟している様子。たまたま別の雌と並ぶチャンスがあり、「片方にハッキリ確認できたアブラビレが、60センチのほうにはどうも無いように見えた」そうです。オビラメの放流魚の可能性ができました。長谷川さんが水中カメラで確認を試みてくれたそうですが、現時点ではハッキリしていません。また、きょう午後までの時点で計3度の産卵行動が確認されました。同じペアによるものかどうかは不明。また近くで40センチほどのニジマス2個体を確認。「オビラメハウス」はとても居心地よいそうです。みなさまホントにご苦勞様です。

7日目18:35(藤原弘昭)

みなさま、大変ご苦勞様です。監視報告メールを見ながら 毎日やきもきし

沼田	山根	山根	坂田	足立	沼田	沼田	河原	草島	山根	藤盛	足立	吉岡	山根	吉岡
山根	河原	沼田	河原	山根	河原	草島	足立	山根	藤原	足立	吉岡	山根	沼田	吉岡
河原	草島	河原	草島	草島	草島	山根	草島	山根	足立	藤盛	山根	河原	沼田	河原
草島	石井	坂田	小野寺	吉岡	山根	川村	吉岡	吉岡	藤盛	吉岡	山根	河原	沼田	河原
石井	吉岡	吉岡	福島	河原	吉岡	川村	河原	吉岡	藤盛	吉岡	山根	河原	沼田	河原
吉岡	河野	草島	吉岡	沼田	川村	川村	沼田	川村	吉岡	吉岡	山根	河原	沼田	河原

11日目 12日目 13日目 14日目 15日目 16日目 17日目 18日目 19日目 19日目

ている藤原です。予定では来週休みを取って監視に参加する予定でしたが、沼田さんと相談して人員的に手薄になる日に急ぎよ休みを取りました。上司にも説明して理解をもらいました。産卵行動は天塩川水系で腹いっぱい見たのですが、尻別イトウのを是非見てみたい！ 多分、私が行ったときには終わっているでしょうが……(涙)では、みなさん、もうしばらく頑張らしましょう！

7日目(足立聡)

AM7時現地着。沼田さんたちと交代。坂田さんが先に来て撮影中。オフィスマルマ長谷川さん、ノースアングラズ西井さん着。風土館の岡崎さんが教育長さんと到着。教育長さんはかなり感動した様子。ちょうどよいことに大型雄2匹が大迫力のバトルを長いことやってくれました。夕方、教育長さんから話をきいた教育委員会の3人が到着。会長、西井さん、足立で案内。3人とも相当興奮した様子。今後、町教委からのバックアップは期待できそうです。

8日目(河原映)

4時～7時までパトロール。倶知安町教委の人が「教育長にぜひ見てこいと言われた」といって、写真を撮りにきました。

8日目13:27(沼田雄一)

足立さん、坂田さんが昨日から引き続き現地に。山根さんも早朝から来てイトウを確認。沼田は7時過ぎに着いてイトウを確認。昨日は岩瀬さんが通りすがりに水深を測っていったそうです。7時半ころ、小野寺さん到着。8時前に草島会長と阿部幹雄さん、平田さん、ニセコ町の片山町長と竹内さん、倶知安町の福島町長、道新記者さん到着。産卵の様子を見ながら取材が始まりました。テレビカメラが回る前で、吉岡さんから両町長に尻別イトウ保護の要望書が手渡されました。藤盛さんご夫妻、菅原さんと息子さん2

人、長谷川さん到着。そのほか、近くのI養鶏場のおじいさんなど、午前中だけで見学者4～5名。「人を警戒して産卵行動を控えている可能性がある」「なるべく近づかないようにした方がいい」ということで、見学者に説明することになりました。ハウスにチラシを張ります。農作業も本格化してきたようで、車を停める場所や土手を歩く際は、迷惑にならないように注意しましょう。今後も2名体制の予定ですが、長期の滞在となるため、お風呂、トイレ、食事などで交代ができるよう、他の方も可能な限り現地に行っていただけると助かります。

9日目15:55(沼田雄一)

坂田さん、山根さんが昨晩から現地に滞在。早朝、河原さん合流。坂田さんの後輩が合流。草島さんが阿部さんと到着。吉岡さんがお弁当を持って到着。阿部さんがハウス内で取材。13時過ぎに藤原さんが倶登山川經由で到着。昨日は、風土館の五十嵐さんが雨の中いらっしゃいました。オビラメハウスで名刺を配り、また来ますと行って帰って行きました。養鶏場のご親戚も3名ほどいらっしゃってました。おじいちゃんが後から解説に駆けつけてました。本日は地元の人が撮影。教育委員会の若い方がまた来てましたが、濁っていたのですぐに帰ったようです。養鶏場のIさんが今日も2人を連れて散歩。草島さんの同窓生さんが奥さんと見学。肝心の魚は、河床を掘る行動をしていました。雌に近づけていない雄のうち1匹は婚姻色がオレンジ色でした。真っ赤な雄と並ぶと色の違いが目立ちます。早く始まったので早く終わって欲しいところですが、増水で新しい個体がやってくるかも。微妙です。

10日目10:21(沼田雄一)

藤原さん、沼田が昨夜から引き続き滞在。草島さんと阿部さん、長谷川さんが朝8時前に合流。ちょっと遅れて足立さん合流。9時こ

ろにイトウを確認。昨日夕、風土館の五十嵐さんが再び来られました。つがいのイトウを見て感動して帰られました。今年から風土館勤務となったそうで「ぜひ協力したい」とのこと。吉岡さんが、要望書を蘭越町役場の事務局に持参くださいました。こちらもいろいろ期待できそう。

10日目21:22(沼田雄一)

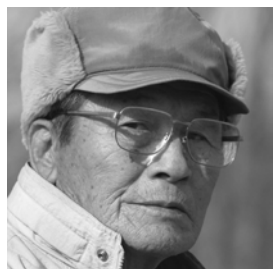
午後3時ころイトウ確認。雌はもう3回くらい産んでそうだけどまだ掘ってる感じ。「新聞記事を見た」と、若い男性・ご夫婦・アマカメラマンさんが見学に。近くのI養鶏場のおじいちゃんは今日もビデオ撮影。土木現業所の担当者さんや倶知安町議さんが視察。今日と明日は山根さんと沼田が連泊です。日中、何人か観察に来ますので、交代で仮眠を取れるとありがたいです(午後はかなり眠い)。

11日目14:57(沼田雄一)

昨夜から引き続き山根さんと沼田が現地滞在。4時過ぎに河原さんが到着して小雨降る中をパトロール。7時半ころ草島さんがバスで到着。7時までに河原さん、8時半過ぎに沼田がパトロール。増水も濁りもそれほど気にならず。11時前に再びパトロール。橋の上で真狩土現の石井係長と遭遇。上流から産卵場所に帰ってきた雄を見てもらえました。引き続き山根さんと沼田が夜警です。今日午前中の見学者は2～3組でした。

11日目22:18(沼田雄一)

午後5時半ころ、真っ暗になる前にパトロール。晩ご飯(吉岡さん差し入れの天井+サポーターさん差し入れの特大メンチ)が重かったの、午後8時過ぎに土手を散歩。左岸側は何ごともなく終了。右岸側を散歩中、上流側のペアのいた辺りでバシャバシャと激しい水音。50mほど下流まで音は続いていきました。暗くなってもケンカは絶えず、と



いったところ。一日小雨が降り続けました。増水も濁りもたいしたことはありませんでしたが、雄の第2陣(第3陣?)もあるのかなあ……と期待しつつ、今日も車中泊。

OBIRAME GUARDIANS! 尻別イトウの守護者たち

12日目21:37(沼田雄一)

山根さんと沼田が夜警。4時半過ぎに河原さん到着。5時過ぎに坂田さん到着。雄イトウを確認。雌は見えず。山根さんが見つけたサケ科の稚魚を捕獲したところ、ヤマメでした。6時半ころ、吉岡さんの奥さんと息子さん、お孫さんから差し入れ。雄2匹を見学して帰られました。7時、河原さんと沼田撤収。午後から草島さん。坂田さんがイトウを確認。明日、1匹もいなくなっていたら今年は終了では、と草島さん談。今夜は山根さんと坂田さんが夜警。

13日目22:08(山根敏夫)

昨夜より山根と坂田さんが夜警。異常無し。4時半頃に河原さんが到着、朝イチのパトロール(河原さん左岸、山根が右岸)ではイトウ確認。その後足立さんが7時前に到着して撮影に入る。9時に会長が到着(皆勤)。坂田さんがイトウ確認。山根は仮眠してましたが、起きると小野寺さんが来ていました。パトロールすると、1匹は落差工の下に張り付いてしまいました(丸見え状態です)。14時45分、福島県知安町長が副町長ら3人とともに見学。巨大なイトウの姿に相当驚いた様子。「丸見え」は怪我の巧妙だったかも。3時頃に吉岡さんが食事の差し入れ。いつもありがとうございます。その後も見学の方が6〜7人ほどで丸見えイトウに感嘆の声をあげていました。山根と足立さんが夜警です。

15日目21:39(沼田雄一)

昨日は夜警明けの足立さんと山根さんが現地滞在。草島会長到着。吉岡さんがお弁当配達。河原さんと沼田が仕事終了後に合流。山根さんがイトウを確認。ギャラリーもい

らっしゃいました。強風と増水で「悪い人」は誰も来ない(川に近づけない)と判断し、沼田が1人で夜警。翌早朝、河原さん合流。草島さん、山根さん合流。夕方、吉岡さんがお弁当差し入れ。その後、川村さんがクトサン経由で現場着。河原さんが早朝、イトウを確認。2時過ぎから濁り出すも3時ころにはほぼ収まり、川村さんが着いた頃には水量は多いがクリアな状態。お昼ころから夕方まで、釣り人を含め数組が見学に訪れました。19時半、河原さんが再び合流。今夜は河原さんと沼田が夜警です。川村さんから今後の監視体制について「雌が数日間確認されていないため、すでに雌の遡上は終了したと考えられる」「雄はあと1週間程度は残ると考えられるが、24時間監視は終了してもよいのでは」「坂田さん確認の60cmは雄だと思われる(放流雄が他の雌にくっついて遡上してきた)」とのこと。今日明日、明後日くらいまでは夜警してみます。その後は密漁の危険のある早朝と、ギャラリーが来る昼から夕方くらいだけ現地にいるような状態で続けようと思いますが、いかがでしょうか？

16日目23:45(沼田雄一)

河原さんと沼田が夜警明け。5時半ころ、子連れのお父さんが見学に現れるがイトウは見られず。7時半、草島会長がバスで到着。藤原さん、山根さんが合流し、それぞれで搜索するが午前10時ころまでには1匹も発見できず。足立さん到着。草島会長帰宅。藤盛さん到着。午後、足立さんが「下流で1匹見かけたかも」。午後3時過ぎに吉岡事務局長が到着。いよいよ撤収という方向で話し合っているところに、イトウ発見との情報。山根さ

んを残して解散。川村先生の助言に従い、監視体制を縮小することとしました。基本的に夜警はせず、朝は河原さんか沼田が可能な範囲で出勤前に立ち寄り、日中は山根さんがパトロール。オビラメハウスは施錠し、鍵は山根さんが保管します。オビラメハウスには『今年度の産卵は終了しました』と張り紙をしました。

17日目20:47(沼田雄一)

夜警明けの山根さんが早朝パトロールするもイトウは見つからず。オビラメハウス内を片付けて撤収。午後から吉岡さんが3時間ほど滞在し、イトウを確認。今夜は夜警なしです。

20日目19:40(吉岡俊彦)

ご苦勞様でした。終息宣言です！ 大変長い間の監視活動ご苦勞様でした。本日PM2:40より4:30まで両岸見回りましたがイトウの姿は見当たりませんでした。皆様のイトウへの思い入れを感謝しております。今後ともご協力のほど宜しくお願いいたします。今年は釣りにハマローと思います。感謝！



尻別川流域条例に イトウ保護条項

尻別川流域の蘭越町・ニセコ町・倶知安町・京極町・真狩村・喜茂別町・留寿都村でつくる「尻別川連絡協議会」は5月27日の総会で、各自治体が持つ尻別川統一条例をそれぞれ改正し、新たに「生物多様性の保全に関する条文」を追加することを決定しました。条文(案)には、イトウ保護への配慮が明記されています。

この条例改正は、「オビラメの会」が5月上旬、同協議会と各町村長に提出した「尻別川統一条例を活用したイトウ保護政策推進のお願い」がきっかけ(1ページ参照)。異例の早さで改正の方針が決まりました。

各町村は6月議会に改正案を提案し、7月中の施行を目指す方針です。

「生物多様性の保全に関する条文」(案)
(生物多様性の保全)

第17条 町は、河川における生物の豊かな多様性を支えるための繁殖環境の保全、啓発活動の推進その他必要な施策に努めるものとする。この場合において、日本最大の淡水魚であるイトウをはじめとする希少な生物に対する保護について特に配慮するものとする。

オビラメ活動報告会 & 総会のご案内

イトウ保護活動報告会

【日時】 2011年6月26日(日曜)13時30分～15時30分

【会場】 倶知安風土館

倶知安町北6条東7丁目3 電話0136-22-6631

【主催】 尻別川の未来を考えるオビラメの会

【協力】 倶知安風土館、倶知安町教育委員会

【入場料】 無料(館内展示をご覧になる場合は入館料100円が必要)

【プログラム】(変更される場合があります)

スライドショー「尻別イトウたちの結婚式」

足立聡氏=写真家、坂田潤一氏=季刊「釣道楽」発行人

ビデオ上映「帰ってきた幻のイトウを守れ」

阿部幹雄氏=ジャーナリスト

パネル討論「みんなで守った! 尻別イトウ」

コーディネーター 長谷川雅広氏(オフィス・マルマ)

「オビラメの会」2011年度通常総会

【日時】 2011年6月26日(日曜)午後4時～

【会場】 倶知安風土館会議室

新年度会費を承ります。また総会終了後、懇親会を予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

お問い合わせはどちらもオビラメの会事務局(下記)までどうぞ。

「オビラメの会」は新入会を歓迎します

「尻別川の未来を考えるオビラメの会」は、会費と寄付金などで運営される市民団体です。みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。年会費は2000円です。郵便局の振り込み用紙に住所、氏名、電話番号を明記のうえ、入会希望と書き添えて、右の郵便口座にお振り込み下さい(手数料はご負担願います)。会員期間はお振り込みいただいた日から年度末(5月)までです。おおむねひと月以内にニューズレターをお届けします。

■年会費2,000円

■郵便振替

02720-9-11016

■加入者名

「オビラメの会」

標識オビラメ見つけたら

☎0136-44-2472

オビラメ事務局マデ

オビラメの会ニューズレター 第36号(2011年6月発行)

OBIRAME Newsletter No.36 June 2011

■発行 ■ 尻別川の未来を考えるオビラメの会

■編集 ■ 平田剛士

■印刷 ■ (株)須田製版 (北海道滝川市栄町3-5-16)

■発送 ■ 吉岡俊彦

■郵便振替 ■ 02720-9-11016 加入者名「オビラメの会」

■オビラメの会事務局 ■

北海道虻田郡ニセコ町富士見65「まぐろ屋十割」内

吉岡俊彦方 〒048-1501 TEL/FAX 0136-44-2472

copyright 2001-2011 Obirame Restoration Group

http://obirame.fan.coocan.jp/

水と空気、みどりの大自然

ニセコが好きだ

楽しんだあとは川を語ろう

まぐろ屋十割

ニセコ町富士見65 TEL/FAX 0136-44-2472
Email / itou110@sa2.gyao.ne.jp